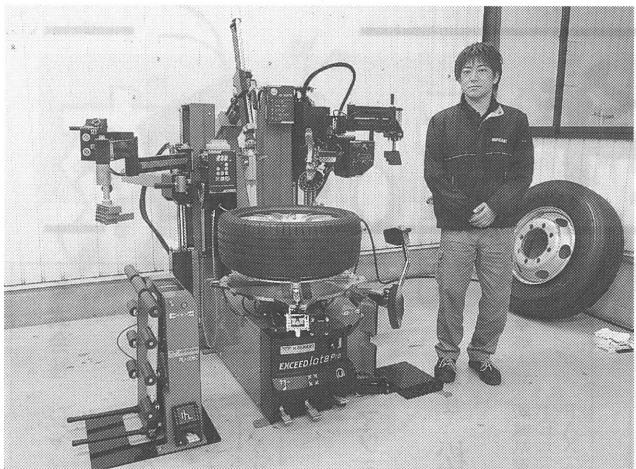


小野谷機工の新型タイヤチェンジャー

EXCEED Iota Pro



EXCEED Iota Pro と吉川真仁氏

小野谷機工は、乗用車用タイヤチエンジャー「EXCEED」(Hクシード)シリーズの最新モデル Iota Pro(イオタプロ)を本紙に公開した。レバーレス作業をほぼボタン操作のみで行えるセミオート化を実現した。同社商品開発本部の吉川真仁氏に新商品の特徴を聞いた。

新商品「EXCEED Iota Pro」が小野谷機工がこだわる安心簡単な作業、軽効化を上側ビード外しをほぼ自動化(セミオート)したこと、難しい高偏平タイヤ作業を楽に行える画期的な仕上がりになつていて、吉川氏は語る。

確かにこれだとタイヤの横まで回り込む必要がないし、腰を少しがめない程度でOK。格段に作業やすい。

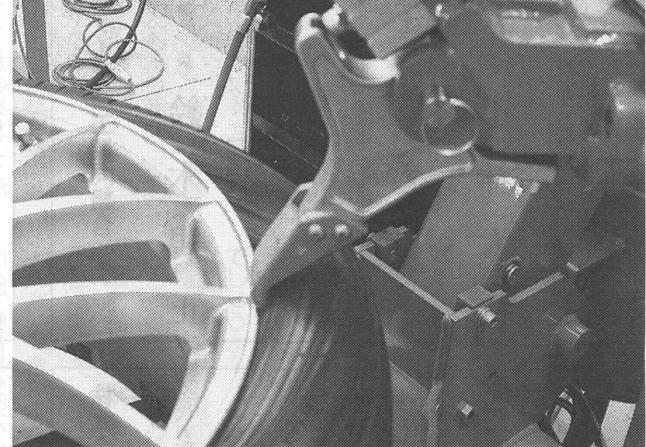
新商品の特徴は二つ。一つは、ビードブレーカーをペダル踏み方式から手元で操作できるハンド式にしたこと。

現在、市場ではタイヤの大径化が進んでいます。大径タイヤのビードブレーキを行つ際、ペダル式では手と足の距離感が遠くなりまし、タイヤの倒れこみも生じる恐

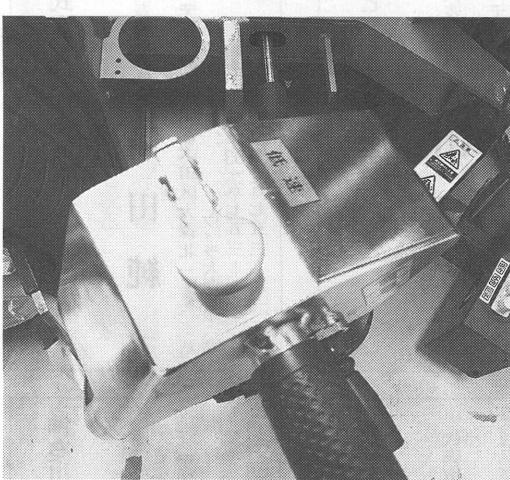
りです。2段階に角度を調節するのも可能。

そして、もうひと工夫込めているのが低速ボタンだ。ビードブレーキ(刃先)が勢いよく刺さるのも、ホイールに傷がつく恐れがある。低速ボタンを押しながら作業することにより、衝撃を緩和する。ブレーキ時の反動もなく安全性をさらに高めた。

続いてビードブレーキしたタイヤをテーブル板に乗せる。オプションのタイヤリフト(PL-180SL)を使えば、この作



DTヘッドが自動でビードを引き上げる



手元操作でビードブレーキが簡単

セミオートで快適作業
進行状況を一目で確認

進歩が一目でわかるモニター

しやすくおのづかずの慣れと経験が必要とのクリアランスがより確保できる。

そして同機の最大の特長が、タイヤ交換作業で機械が自動で動いてくれます。以前のような細

多少の慣れと経験が必要でした。このIota Proは自動のプログラムが入っているのでボタン一つで機械が自動で動いてくれます。以前のような細

くして、あえて作業者ではありません。通常の乗用車用のタイヤですとレバーを使って作業したほうが早いと思いますが、レバーレスは現状増えている高偏平タイヤ、サイドウォールの硬いタイヤの作業に適しています。作業経験のある方にはこうしたマシンが特に効果を發揮すると思います」と語る。

EXCEED Iota Pro。充実の機能を備えた「ビード確認→AUTO」と「オフセット」の状態になつて登場したといえそうだ。商品問い合わせは同社本社(0778-22-2112)または各営業所まで。

ビードが持ち上がってない場合は、通常レバーを使って作業するとともに同様に、ビードを押してホイールのドロップ部分に落とし込んで上げることになる。

DTヘッド外しは、ビードアッププローラーを手

でノズルから液体タイヤクリーナーを噴射で再びAUTOボタンを押すわけだ。完全な自動化ではなく、あえて作業者が AUTOボタンを押せば作業が正しく行われている。あたりの造りこみに作業者に対する気配りを感じます。そこで作業者は一旦マ

DTヘッドをホイールの上端にセットする。そこでAUTOボタンを押せば作業開始である。セミオート運転中は進行状況がADPモニターに表示される。今、どんな作業をしているかが一眼でわかるので、作業者にとって大変助かる機能である。ランプ表示は「ビード確認→AUT

トボタンを押すと、自動でタイヤ回転を行